

創立:昭和31年(1956)2月10日

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ



地域を育み、大陸をつなぐ
RI会長:レイ・クリンギンスミス

The Rotary Club of Sumoto

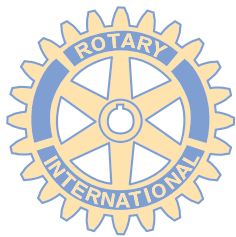
クラブテーマ:GO!GO!次なる一歩へ

Weekly Bulletin

第2680地区
洲本ロータリークラブ

事務所:〒656-0025 洲本市本町4丁目5-10 三井住友銀行 洲本支店3F TEL.(0799)22-8915
E-mail. sumotorc50@cup.ocn.ne.jp FAX.(0799)26-0101

例会:毎週火曜日12:30 三井住友銀行 洲本支店3F 会長:秦 紳一郎 幹事:岡田 雅博 会報委員長:中村 尚義



第2752回例会 2010.10.5(火) Vol.13

米山奨学生をお迎えして

米山奨学会 番所利行委員長

今月は『職業奉仕月間 米山月間』です

第2751回

2010

9/28 Report

出席委員会 (9月28日)	●先取補填者……………0名
●会員総数……………45名	●本日の欠席者……………8名
●出席必要会員数……………44名	●今週の出席率……………82%
●本日の出席者……………36名	●先々週の修正出席率…84%

会長の時間

会長 秦 紳一郎

皆様こんにちは。例年お彼岸には必ず開花していた曼珠沙華、私の家のあたりでは昨日まで一輪も見かけませんでした。が、今日ようやく洲本市大野あたりで咲いておりました。例年の約10日遅れの開花と言うところでしょうか。皆様には酷暑のお疲れがでないようお祈りいたします。

今月は新世代のための月間ですので、私自身がかつて所属したローターアクトについて少しお話しいたします。我がクラブでは、坪内さんが淡路ローターアクトクラブ(RAC)の出身、私は今は無き淡路三原RACの出身です。淡路RACは我が洲本クラブの20周年の時に、ここにいらっしゃる豊田さんの大変なご尽力により結成されました。我がクラブが今年度創立55周年を迎えますので、淡路RACは創立35周年ということになります。

当地区では現在6つのRACが活動中です。社会人が中心の姫路RCスポンサーの姫路RAC、神戸RCスポンサーの神戸RAC、淡路RAC、神戸北RCスポンサーの神戸北RAC、それから大学を母体とした姫路南RCスポンサーの姫路獨協大学RACと神戸須磨RCスポンサーの神戸女子大学RACです。しかし、以前はもう5つのRACが存在しました。

伊丹RCスポンサーの伊丹RAC、神戸東RCスポンサーの神戸東RAC、西宮RCスポンサーの西宮RAC、川西RCスポンサーの大阪青山短期大学RAC、そして淡路三原RCスポンサーの(私の所属していた)淡路三原RACです。蒼々たるRCがスポンサーですが、これらのクラブは休会となり現在は存在しません。

RACは年齢制限がありますから、どのクラブも会員数にはかなりの波ができます。そして淡路RACは創立以来、会員数が0名になったことがなく休会を経験していない地区内では数少ないクラブです。かつて9月の月間の卓話者として何度も例会に来てくれた矢号明くんと阿部奈津子さんが昨年卒業して、現在は会員数4名というかなり厳しい状態だそうです。不動新世代奉仕委員長と、木戸ローターアクト委員長、そして武田インターアクト委員長が一致協力をして淡路RACを盛り立てようと頑張ってくれています。皆様もぜひご協力下さいますようお願いいたします。



- 来訪者：なし
- ソング：我らの生業

- 石濱義民君
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー受賞

幹事報告

幹事 岡田 雅博

1. 洲本 RC より

- ・10月移動例会のお知らせ
10月12日(火)12:30 例会場:洲本ガス
(職業奉仕委員会)
- 10月24日(日)11:00 三熊山・洲本城にて
「ベンチ贈呈式」
12:30 例会・食事 (夢海游)
卓話「三熊山・洲本城について」
*雨天の場合:ベンチ贈呈式は決行。
卓話は12:00よりホテル夢海游で開催

2. ガバナー事務所より

- ・10月レートのお知らせ 1\$ = 86円

3. RI より

- ・「the rotarian」 拝受

4. 財ロータリー米山記念奨学会より

- ・「2009年度事業報告書・決算報告」「米山学友の群像 VOL.3」「広報資料送付申込書」 拝受

5. 淡路グループより

- ・あわじ中央 RC より週報拝受
- ・淡路グループガバナー補佐より
第2回会長幹事会のご案内
10月5日(火)13:45より洲本 RC 例会場にて開催
- ① IM について ②新聞広告について

6. その他

- ・阪神第2グループより IM 報告書 (CD・PDFデータ) 拝受
- ・静内 RC より週報と「2010-2011 活動方針と計画」 拝受
- ・財淡路くにうみ協会より
「平成22年度淡路島くにうみ講座(第4・5回) 受講生の募集について」の案内
第4回 10月16日(土)9:30~14:30
紀淡海峡を望む、由良要塞跡めぐり
(淡路島かたりべ会)
第5回 10月16日(土)13:30~15:00
永田青嵐を偲んで~孫が語る青嵐像~
(永田秀一氏)
- ・中村海人君から交換学生月例報告
(2010年9月5日) 届く



委員会報告

■ローターアクト委員会

例会(9月25日)に出席。石濱義民、木戸清隆、不動正章、鶴飼 徹。会員の増強をお願いします!

■インターアクト委員会

10月24日(日) 柳学園インターアクトクラブの会員
三熊山ベンチ贈呈式に参加いたします

■IT 特別委員会

会員ログイン入力をお願いします!
以上 木戸清隆委員長

■つり同好会 高山秀則世話人

場所 じゃのひれフィッシングパーク午前7時より
お疲れさん会 午後5時より「まる万」にて

■職業奉仕委員会 西岡能視委員長

職場例会開催 (プリント配布)
とき 平成22年10月12日(火) 12時 30分
例会場 洲本ガス株式会社
テーマ 「ガスのある快適な暮らし」

ニコニコ箱 (9月21・28日)

- ・国民体育大会水泳個人メドレーに女子職員が3位入賞しました。早退のお詫び 瀧川好美君
- ・三木明地区研修リーダー、中村尚義直前ガバナーには IM について大変お世話になりました
石濱義民君
- ・阿部地区委員、メラニー・ケイ・パービスさん、ようこそ洲本クラブへおいでくださいました
高鍋直人君、不動正章君
- ・先週来訪者のソバニエさんよりオリーブオイルをいただきました 鶴飼 徹君
- ・早退のお詫び 寺山直次君
- ・先週欠席のお詫び 長手康祐君
- ・ちょっと良いことがありました 井口昌亮君
- ・所用で本日の理事会を欠席します 長井康洋君
- ・早退のお詫び 番所利行君
- ・早退のお詫び 藤岡昭三君
- ・お休みが続きまして 江本幸仁君

本日合計 16,000円

累計205,000円 (目標; 900,000円)

本日もご協力有り難うございました!



ポリオをなくそう募金

- ・秦 紳一郎会長
- ・蔦 稔夫君

子どもたちにありがとう

男と女シリーズ

イヤな男の親切よりも

好きな男のムリがいい

(都々逸より)

これからのプログラム予告

- 10月12日 「ガスのある快適な暮らし」
職場例会・洲本ガスを訪問
- 10月19日 石門心学「真実かどうか」
DVD 観賞
- 11月2日 R 財団の支援に感謝 (仮)
兵庫学友会長 二見安紀子様
- 11月9日 税を考える週間に因んで
洲本税務署長 山本昌平様

プログラム 「WCS ワークショップ参加の報告」

国際奉仕委員会 長井康洋委員長

去る9月11日、三宮研修センターで標記の会が催され中村地区アドバイザー、秦会長とともに参加して参りました。

そのご報告の前に、例年この時期には前年度を振りかえって反省やら思い出話を前会長にさせようと、プログラム委員長が目論んでおられますので、少し前年度を総括しておきたいと思えます。前年は、何といても当クラブからガバナーを輩出し地区大会をホストするという、洲本クラブのこれからも続く長い歴史の中でもエポックメイキングな年でありました。ガバナー事務所にべったり貼りついた方や、公式訪問に随行された方、地区大会で奮闘された方など、個々人のロータリーライフにおかれましても印象深い1年であったと思えます。

洲本クラブの運営については、毎週の例会ができるだけ魅力あるものになるよう心掛けました。その点で、高山プログラム委員長のご高配にとでも感謝しています。毎月1名は、外部から講師を招聘していただき、普段は接することのない世界も垣間見ることができました。また異色のクリスマス家族会や充実した親睦旅行を企画していただいた親睦委員会は、岡田先生と奥さんの優しい人柄がとてもよく出ていたと思えます。私個人的には、親睦旅行で輪王寺大猷院霊廟を見学できたことが、望外の喜びでした。

前年度を振り返るなかで、もう2点だけ触れさせていたきたいと思えます。1つは、毎回お聞きいただいた小生の拙い会長挨拶です。どの年度の会長もきっと頭をいためたことでしょうが、私は20年ほど前の35代会長生子俊一郎さんのご挨拶

をお手本にしたいと思いました。季節感を取り入れたお話は、今でもその当時の例会の日の空の色や気温や湿度までも感じられる思いがいたします。もう1点は、SAAのご協力です。皆さん多忙な中を出席して下さる例会だからこそ、有意義であって欲しい、きちんとした会であって欲しいと願い、藤原SAA、川井、坂本両副SAAには国旗、ロータリー旗、BGM、携帯マナー等々、細かいご配慮をいただきました。



残念ながら6月末をもって2名の方が退会されてしまいました。心苦しいものがありますが、武田前幹事共々いたしかたなし……と、受忍することといたしました。

さて、本題に戻ってWCS (国際奉仕) ワークショップですが、ここ10年くらい9月に三宮で開催されています。午後1時から始まり、まず現在進





行している WCS プロジェクトの報告がありました。お手元に配布しております資料の1枚目に MG プロジェクト、2枚目に非MGプロジェクトが紹介されています。国際奉仕委員会では、対象がすべて海外ですから当然のようにローマ字の略字がよく使われます。この表の中でもMG (マッチング・グラント)DDF(地区財団活動資金)TRF(ロータリー財団の資金)が使われており、他にも3H, CLE など、4月の地区協議会でいただく資料でよく知っておかないと、何が何だか分かりません。

ところで WCS プロジェクトといっても所詮は途上国への民間援助です。1つのプロジェクトは、およそ1万ドル~2万ドルで単年度か長くても3



年で済んでしまうものですから、こういう援助がどれほどの効果があるのか疑問視する見方も少なくありません。MG003 シラミ退治に11,750ドルを使おうとしています、コレって本当に意味あるの?と思いますよね。中園地区委員長も、これらは西欧社会の援助理念 noblesse oblige charity(高い身分に伴う道徳上の義務として行う慈善行為)に基づくものだから、自己満足のためで1回きりになることが多い(あまり役に立たない)と指摘しています。

そこで日本のロータリーが考えている「援助の理念」とは、『途上国の人々が、自立するための自助努力を援助すること』です。それに基づいて昨年度から実施されたのが、ネパールのパタン市で貧困女性40名へ6ヶ月間理容師、美容師になる技能、職業訓練を提供する、というプロジェクトでした。そして、その訓練を終了した女性らが自らの理美容室を開業するための資金をマイクロファイナンス(無担保小額融資)するというので、この企画には芦屋RCと尼崎東RCが協力されました。



今年も MG006 で、ネパールのジャワラケール・マンジュスリ RC が提唱した女性の職業訓練がプロジェクトされています。この訓練を担当するのは、ルーザトレーニングセンターという施設ですが、ここの経営者はアルチャナ・シュレスタ・ジョシさんという元米山奨学生です。今回のワークショップにも来日されて、きれいな日本語で「貧困女性の自立支援」についてスピーチされました。

私はアルチャナさんのお話に、今の多くの日本人から消えてしまった『必死に生きる姿』を見たような気がいたしました。

